

Gene & Cell Therapy for Neurological Diseases

Chairs : Shin-ichi Muramatsu

Division of Neurology, Jichi Medical University, Japan

Hitoshi Okazawa

Medical Research Institute, Tokyo Medical and Dental University, Japan

OC-05-1 miRNA-mediated therapeutic approaches for neurodegenerative diseases

Yu Miyazaki

Department of RNA Biology and Neuroscience, Graduate School of Medicine, Osaka University, Japan

OC-05-2 AAV mediated gene therapy targeting brain cholesterol for Huntington disease

Nathalie Cartier

INSERM UMR1169 Université Paris Saclay, France

OC-05-3 in vivo Gene Therapy for GM2 Gangliosidoses

Kohji Itoh

Department of Medicinal Biotechnology, Graduate School of Biomedical Sciences, Tokushima University, Japan
/ TR-SPRINT, AMED, Japan

OC-05-4 Stem cell-based therapy for Parkinson's disease

Jun Takahashi

Center for iPS Cell Research and Application, Japan

神経免疫難病のトランスレーショナルリサーチ：モデルから目指す創薬

座長：吉良 潤一 九州大学大学院医学研究院神経内科学分野

神田 隆 山口大学大学院医学系研究科神経内科学

OC-06-1 新規動物モデルを用いた慢性進行型多発性硬化症の創薬研究

大木 伸司 国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部

OC-06-2 二次進行型多発性硬化症の新規動物モデルと炎症性グリアを標的とした創薬

吉良 潤一 九州大学大学院医学研究院神経内科学分野

OC-06-3 慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー (CIDP)：モデルから目指す創薬

飯島 正博 名古屋大学大学院 医学系研究科 神経内科

OC-06-4 世界初の肥厚性硬膜炎モデルを用いた創薬

眞崎 勝久 九州大学病院 神経内科

OC-06-5 血液脳関門、血液神経関門モデルから創薬へ

神田 隆 山口大学大学院医学系研究科 神経内科学

共催：日本神経免疫学会

Prion-like phenomenon: From myth to reality

Chairs : Koji Yamanaka

Research Institute of Environmental Medicine, Nagoya University, Japan

Yohei Iguchi

Department of Neurology, Nagoya University, Japan

HT-07-1 Does Parkinson disease start in the gut?

Per Borghammer

Dep. of Nuclear Medicine & PET Centre, Aarhus University Hospital, Denmark

HT-07-2 Focality, stochasticity and neuro-anatomic propagation in ALS neurodegeneration

John Ravits

Department of Neurosciences, University of California, San Diego, USA

HT-07-3 Endosomal pathway: a molecular basis for prion-like phenomenon in synucleinopathy

Takafumi Hasegawa

Division of Neurology, Department of Neuroscience & Sensory Organs, Tohoku University Graduate School of Medicine, Japan

HT-07-4 Exosome pathway: a key for clearance of pathological TDP-43

Yohei Iguchi

Department of Neurology, Nagoya University, Japan

パーキンソン病の自律神経機能障害

座長：岡 尚省 東京慈恵会医科大学附属第三病院神経内科

渡辺 宏久 名古屋大学脳とこころの研究センター

HT-08-1 血圧循環障害

梅原 淳 東京慈恵会医科大学附属第三病院 神経内科

HT-08-2 消化管の自律神経障害に伴うパーキンソン病の臨床症状と病態

平山 正昭 名古屋大学大学院医学系研究科病態解析学講座

HT-08-3 排尿機能障害

榊原 隆次 東邦大学医療センター佐倉病院 内科学神経内科

HT-08-4 Parkinson病の発汗機能障害

朝比奈正人 神経内科津田沼

HT-08-5 概日リズム(Circadian Rhythm)

仙石 錬平 東京都健康長寿医療センター 神経内科・高齢者ブレインバンク

G-02 新ガイドライン 02

Jp

5月26日(土) 8:00～10:00

第4会場(さっぽろ芸術文化の館3F 黎明の間)

SCD・MSA診療ガイドラインとその活用

座長：水澤 英洋 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
佐々木秀直 北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野神経内科学教室

G-02-1 ガイドラインの概略と常染色体優性遺伝性SCD・痙性対麻痺
高橋 祐二 国立精神・神経医療研究センター

G-02-2 本邦における常染色体劣性遺伝、X染色体連鎖性の失調症
横関 明男 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 臓器連関学寄附講座

G-02-3 本邦における孤発性脊髄小脳変性症
桑原 聡 千葉大学大学院医学研究院・神経内科学

G-02-4 運動失調症の薬物療法
花島 律子 鳥取大学病院 脳神経内科学分野

G-02-5 脊髄小脳変性症に対するリハビリテーション
三浦 教一 社会医療法人大道会森之宮病院 リハビリテーション部 作業療法科

共催：日本神経治療学会・厚生省「運動失調症の医療基盤に関する調査研究」班

S-30 シンポジウム 30

Jp

5月26日(土) 8:00～10:00

第1会場(さっぽろ芸術文化の館1F ニトリ文化ホール)

片頭痛の謎を解き明かす

座長：古和 久典 国立病院機構松江医療センター神経内科
清水 利彦 慶應義塾大学医学部神経内科

S-30-1 片頭痛の病態に関する最新の知見
永田栄一郎 東海大学医学部内科学系神経内科

S-30-2 CGRPを標的にした片頭痛の新しい治療薬
柴田 護 慶應義塾大学医学部 神経内科

S-30-3 心臓疾患に対する治療効果からのアプローチの展望
竹島多賀夫 富永病院 神経内科・頭痛センター

S-30-4 漢方薬に対する効果からのアプローチ
光藤 尚 埼玉医科大学病院 神経内科

S-30-5 Non-invasive neuromodulationによる治療効果からのアプローチ
團野 大介 兵庫医科大学 内科学 神経内科

共催：日本頭痛学会

26
日

シン
ポジ
ウム

S-31 シンポジウム 31**Jp**

5月26日(土) 8:00~10:00

第2会場(さっぽろ芸術文化の館3F 瑞雪の間)

新たに確立された神経疾患：その臨床および病理像

座長：若林 孝一 弘前大学大学院医学研究科脳神経病理学講座
 吉田 眞理 愛知医科大学加齢医学研究所

S-31-1 神経核内封入体病(Neural Intranuclear Inclusion Disease : NIID)

曾根 淳 名古屋大学大学院 医学系研究科 神経内科学

S-31-2 神経軸索スフェロイドを伴う遺伝性びまん性白質脳症(HDLS)の臨床と病理

他田 眞理 新潟大学脳研究所 病理学分野

S-31-3 Globular glial tauopathy の臨床病理学的特徴

豊島 靖子 新潟大学脳研究所 病理学分野

S-31-4 特発性基底核石灰化症

保住 功 岐阜薬科大学 薬物治療学

S-32 シンポジウム 32**Jp**

5月26日(土) 8:00~10:00

第3会場(さっぽろ芸術文化の館3F 蓬莱の間)

いま、Neuroimagingで見えるもの、見なければいけないもの

座長：佐光 亘 徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床神経科学分野
 徳丸 阿耶 東京都健康長寿医療センター放射線診断科

S-32-1 PETで見える、これから見なければいけない異常蓄積物

菊池 昭夫 東北大学大学院医学系研究科 神経内科学分野

S-32-2 PETで見える、これから見なければいけないneuroinflammationと受容体機能

尾内 康臣 浜松医科大学 光先端医学教育研究センター 生体機能イメージング研究室

S-32-3 機能的MRIで見える、これから見なければいけない脳機能

渡辺 宏久 名古屋大学 脳とこころの研究センター/名古屋大学 神経内科

S-32-4 MR spectroscopy(MRS)での微量代謝物の測定と有用性について

原田 雅史 徳島大学大学院 放射線医学分野

S-33 シンポジウム 33**Jp**

5月26日(土) 8:00~9:30

第7会場(ロイトン札幌1F キャッスル)

パーキンソン病治療のUnmet Needsを考える

座長：坪井 義夫 福岡大学医学部神経内科
 柏原 健一 岡山旭東病院神経内科

S-33-1 パーキンソン病の磁気刺激治療

濱田 雅 東京大学医学部附属病院神経内科

S-33-2 パーキンソン病の眼球運動異常とDBSによる運動障害改善
寺尾 安生 杏林大学病院 細胞生理学教室

S-33-3 入院リハビリテーションの効果：予後改善の可能性
加世田ゆみ子 広島市立リハビリテーション病院 脳神経内科

S-33-4 在宅リハビリテーションによる長期予後改善の可能性
中馬 孝容 滋賀県立総合病院 リハビリテーション科

S-34 シンポジウム 34

Jp

5月26日(土) 8:00～9:30

第5会場 (さっぽろ芸術文化の館3F 清流の間)

神経難病の多職種連携 ～すぐに役立つケアを目指して～

座長：荻野美恵子 国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター
駒井 清暢 国立病院機構医王病院神経内科

S-34-1 ALSクリニックの始動
狩野 修 東邦大学医学部内科学講座神経内科学分野

S-34-2 呼吸器サポートチーム(RST)を行ってきた経験から
石川 悠加 八雲病院小児神経科

S-34-3 神経難病病棟での緩和ケアチーム
荻野 裕 国立病院機構 箱根病院 神経内科

S-34-4 神経難病専門病院における栄養サポートチームの取り組みについて
木田 耕太 東京都立神経病院 脳神経内科

S-35 シンポジウム 35

Jp

5月26日(土) 8:00～10:00

第6会場 (さっぽろ芸術文化の館3F 玉葉の間)

21世紀の女性医師の活躍促進～ポジティブに仕事をしよう！

座長：西川 典子 国立精神・神経医療研究センター病院神経内科
飯嶋 睦 東京女子医科大学神経内科

S-35-1 アカデミックポストに必要なキャリア形成
花島 律子 鳥取大学病院 脳神経内科学分野

S-35-2 女性医師キャリア形成：東京女子医科大学の取り組み
肥塚 直美 東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター

S-35-3 女性研究者の活躍促進を目指して
山村 康子 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 科学技術プログラム推進部

S-35-4 女性が学会理事になるということ
村島 温子 国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター/妊娠と薬情報センター

26
日

シン
ポジ
ウム

S-35-5

女性医師活躍のために必要なリーダーの意識改革

戸田 達史 東京大学大学院医学系研究科神経内科

共催：日本神経学会キャリア形成促進委員会

26
日

シン
ポジ
ウム